

令和7年度事業計画

(1) 基本方針（公益目的事業）

仙台塩釜港におけるフェリー埠頭の建設、改良、維持管理を総合的に行い、フェリー航路を確保し、住民生活に必要な物資等の供給と人的交流を推進し、住民の福祉の増進と地域経済の発展に寄与する事業を行う。

(2) 事業計画

① 埠頭供用計画

貸付施設名		貸付先	契約期間	備考
フェリー埠頭	1号岸壁(第1バース) 東側駐車場	太平洋フェリー(株)	5年(令5.4~ 令10.3)	令和7年度フェリー通航予定便数 仙台~苫小牧(682便) 仙台~名古屋(357便) 計(1,039便)
	2号岸壁(第2バース) 西側駐車場	退避バースとして利用 太平洋フェリー(株)	- 1年	
	旅客ターミナルビル、 附属棟	太平洋フェリー(株)	5年(令5.4~ 令10.3)	
	附属棟、社員駐車場	菱中海陸運輸(株)	1年	

② 施設の整備及び維持管理

ア 建設工事

第1バースエプロン舗装部の整備を行う。なお、本工事は資産取得資金の取崩しにより対応する。

また、バイク利用客からの要請が多かったことから、駐車場乗船レーンの上屋(シェルター)増設を行う。

イ 維持修繕工事

岸壁及び埠頭施設の老朽箇所について改修等を行う。

ウ 管理業務委託

フェリー埠頭施設に関する点検業務、ターミナルビル清掃・警備等の業務委託を行う。

③ フェリー航路の利用促進等

ア フェリー航路の利用促進活動

航路維持につながるフェリー利用の啓発等について、埠頭施設利用者と連携しながら、道の駅等への利用提案を行う。

イ 観光情報の提供

観光・物産等の情報をターミナルビルなどに掲示し、県内自治体と連携して観光ポスター掲出やパンフレットの配架を行い、利用者の利便性を図る。

④ 公社設立50周年記念行事

昭和50(1975)年4月に設立された当公社は、平成7年の設立20周年記念式典挙行以来、1社航路撤退、東日本大震災による被災等厳しい経営を余儀なくされたが、関係機関の協力により、本年度において設立50周年を迎えることとなった。

この間築き上げてきた業績を振り返るとともに、仙台港フェリー埠頭に対する意識をさらに高めるため、記念行事を実施する。